



岐阜県 商店街だより

第372号 2015.8.20 8月号



発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

美濃

7/15(水)

街中のゲームに子供達は大喜び あそびにおんせい 俵町夜祭り

■主催：美濃俵町商店街振興組合

「あそびにおんせい」を合言葉に、俵町では毎年夜祭りを開催しています。7月になると町ごとに夜祭りが開催され、中日の15日に俵町で夜祭りが開催されます。この日は、常磐町、相生町、魚屋町と同時開催されました。夕方にひどい雨が降って気を揉みましたが、幸い持ち直し、無事に開催することができました。

夜祭りでは、俵町自治会と商店街が協力して、通りの中でミニゲームを行い、それぞれ景品がもらえるというイベントを開催しています。また、夜祭りサービスデーと題して、各店舗では、昼間から割引品の販売等を行っています。午後6時を回ると、通りに人々が集まり始め、平日の水曜日にも関わらず、通りはたくさんの人で埋め尽くされました。

に協力しますし、子供達もゲームを楽しみにしています。地元に根付いた夏のイベントになっています。」とのことでした。

歩行者天国なので、安心して三々五々人が歩いていましたが、そのうちにスムーズに歩けないほどの人だかりになりました。子供達限定のミニゲームが、通りの中に適度にちりばめられていました。輪投げ、スマートボール、ガラガラ福引、サイコロゲーム、スーパーボールすくい、ヨーヨー風船釣りゲームの6つです。どのゲームも、子供達の笑顔が溢れていました。スマートボールに懐かしさを覚えました。景品の一等はスイカで、ハズレはなく、子供達の歓声が途切れることがありませんでした。また、ガラガラ福引も長い行列ができていました。



▲通りに繰り出す人々

日比野理事長によると、「神事と繋がるお祭りなので大切にしています。お店も積極的



▲スマートボールに興じる子供達

まちの駅「にわか茶屋」の前も、人がたくさんいました。店の前に特別の屋台が作られ、焼き鳥、ネギま、フランクフルト、焼きトウモロコシ等が、焼き立てで並んでいました。すべて地元の食材です。この夜は、お店の中も開いていて、地元の野菜、果物、加工品、お酒等がふんだんに並んでおり、地産地消の街づくりを実感しました。

夜祭りにタイアップして、開いている店がありました。「小坂酒造場」(国の重要文化財)もそのひとつです。清酒「百春」の蔵元で、「山野豊(さんやほう)」という銘柄の新酒(関市の米みにしきで仕込み)も売り出されていました。

「山本屋豆吉本舗」も開いていて、古民家風のお店に入ると、たくさんの種類の豆菓子が並んでいました。「みそがらめ」という不思議な名前の豆があったので、お店の方にお聞きすると、「味噌をからめたお豆です。人気商品のひとつですよ。」とのことでした。夜にも関



▲ガラガラ抽選の長い列

わらず、店をのぞくお客さんがいます。夜祭りの人出はずっと絶えず、街中ゲームの威力に舌を巻きました。

美濃市には、「和紙」と「うだつ」という武器があります。平日のお祭りですが、もっと外部に発信すれば、更なる発展を遂げる潜在能力の高さを感じました。

【参考となるポイント】

- 活気ある街中ゲーム。
- 夜に開くお店の協力が大切。
- 商店街から外への発信。

羽島
7/1(水)

神事と繋がる手作りのお祭り 代々まつり

■主催：商店街振興組合羽島市商店街連盟

7月1日(水)の午後5時から、羽島市竹鼻町の商店街で代々まつりが開催されました。当日は雨の予報でしたが、幸い持ち直し、予定通りに実施されました。平日にも関わらず、会場である「青山スクエア」には、沢山の人が集まりました。食べ物コーナー、金魚すくい、綿あめ、射的等の前は、行列が絶えない楽しいイベントでした。

代々まつりは、町や家が代々栄えることを願って、今年前半の無事を神に感謝し、残り半年の無病息災を祈願する祭礼です。前日の6月30日に、竹鼻の氏神の八剣(はっけん)神社で禊ぎ神事がありました。入口に設置された茅の輪をくぐり、これまでの気枯れを祓い、健康に夏を過ごし、厄除けに悪疫消除を

祈願します。竹鼻では、7月1日と15日に地域を上下に分けて、それぞれの家の前に竹を立て提灯を飾り、みそぎ団子を食べ、夜に



▲会場となった「青山スクエア」

は提灯に灯りを入れます。1日も夕暮れになると、赤い提灯に灯りが点り、夜空に映えていました。

羽島商工会議所の伊藤さんにお話をお伺いすると、「青山スクエアは旧銀行跡に、去年の11月に完成しました。今年初めて代々まつりの会場としました。地元の神事と合わせて、曜日は関係なく7月1日と決めています。年に一度のこの祭りを皆さん楽しみにされています。」と話していました。

青山スクエアの特設ステージの上で、ガラガラ抽選会が行われ、長い行列ができていました。浴衣を着たお子様限定、先着200名が対象で、景品は1等スイカ、2等みたらし団子、3等お菓子詰め合わせ、残念賞の4等がユニークで、両手で米すくい(ハツシモ)でした。ハズレでも、両手でお米をすくう子供達から、笑顔がこぼれていました。

金魚すくいも人が絶えないので覗いてみると、すくう前にコップの中に4匹が泳いでいました。ニコニコ顔で5匹目に挑む子供達の微笑ましい姿がありました。



▲ガラガラ抽選に喜ぶ子供達

青山スクエアの中に佐吉仏の和泉や佐吉翁象があります。すぐ近くに、大仏寺があって、室内に「佐吉大仏」(拝観料無料)がありました。高さが5m近い温和な顔の立派な仏像でした。永田佐吉(1701~1789)は、竹鼻出身で、戦前の修身の教科書に載った人で、「美濃聖人」と言われています。

食べると夏バテしないとの言い伝えがあ



▲真剣勝負の金魚すくい



▲射的に夢中な子供達

る、みそぎ団子(兎月園)を初めて食べました。竹串に味噌団子が2個刺さっていて、団子の中に餡が入っていました。味噌の香ばしさとこし餡の甘さが、不思議にマッチしていました。

桐井理事長にお話をお伺いすると、「地元の神事と繋がっているので、代々まつりはこれからも大事にします。商店街の発展に何とか繋がたいですね。」とのことでした。

竹鼻には、佐吉大仏、みそぎ団子等、街おこしのアイテムがいろいろ隠れています。灯りの点った提灯を眺めながら、商店街の中でのイベントも加わったこれからの「代々まつり」を想像しました。

【参考となるポイント】

- 伝統の神事とのつながり。
- 手作りイベントに子供達の絶えない笑顔。
- 地元の名勝、名品の活用。

柳ヶ瀬

7/3(金)

元気溢れる夏の夜 夜空Café

■主催：夜空カフェ実行委員会

「岐阜を夢の街へ 夢の叶う街へ そんな力で地域を元気に」をキャッチフレーズに、毎月第1金曜日の夜に開催されている夜空Café。東海地方で活躍するパフォーマーが歌い、クリエイターが出店します。地産地消に拘った食べ物やドリンクも並びます。7月3日の夜も、日ノ出町のど真ん中広場周辺では、元気が溢れるイベントが夜空の下で繰り広げられていました。

ステージのタイムスケジュールが手書されたポスターが柱に貼られており、夜7時オープンで、歌あり、お笑いあり、マジックありと、10時近くまで、いろいろなパフォーマンスを堪能できました。パフォーマーと観客のキャッチボールが随所にあって、和気あいあいと楽しい時間が流れました。トリを飾ったのは大國ケンタBANDで、ギターとベース、コントラバス、キーボード、打楽器のゆったりとした演奏と歌が、参加者をすっかり虜にしていました。



▲大國ケンタBANDに酔いしれる

ステージ横のクリエイターコーナーも、ステージに負けない位の人ばかりでした。カラーセラピー、ハンドマッサージ、パワーストーン、インドのヘナタトゥー体験等、様々

な出店がありました。灯りが絞られていることもあって、幻想的な雰囲気の中に、創造的で不思議な店が並んでいました。似顔絵工房は、自画像でなくてもOKで、自分の好きな歌手を描いてもらった若い女性が、その可愛い出来映えに大喜びしていました。

フードコーナーに出店の野菜カレーを頂きました。地元の野菜がふんだんに使われていて、あっさりとした爽やかな味でした。岐阜産の牛乳も一口飲んだだけで、濃厚な味がロ一杯に広がりました。



▲クリエイターコーナーの人だかり

「岐阜柳ヶ瀬お化け屋敷」のPRも、ステージでありました。2年ぶりに、「恐怖の細道」と題して7月19日から8月30日まで開催されます。この日も、特殊メイクをした口裂け女が古い公衆電話ボックスから登場し、そのリアルさに、観客は度肝を抜かれていました。怖くて、思わず泣いている子供達もいました。暑気払いには持って来いのイベントになりそうです。

7月7日の七夕が近いことから、笹飾りに願い事を書くコーナーがあり、テーブルの上の方に、「夜空で夢を叶えnight!」と手書きしたポスターが貼られていました。子供達が列を作って短冊に願い事を書いて、笹に



▲願い事を吊るす七夕飾り

吊るしていました。願い事は一人ひとり異なるので

るのですが、夜空Caféで願い事を書いたことは忘れないように思いました。

イベントの終わりに、ステージに立った若いスタッフの元気さに圧倒されました。楽しくて仕方がない気持ちがストレートに伝わってきて、清々しい気分になりました。この若さに元気をもらいに、夜空Caféにまた参加したいと強く思いました。

【参考となるポイント】

- 夜には夜のイベントがある。
- 地産地消は本当に美味しい。
- 若いスタッフの元気が笑顔を誘う。

大垣市商店街振興組合連合会

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業 ビジョンづくりコース

大垣市商店街振興組合連合会では、(株)全国商店街支援センターのトータルプラン作成支援事業を活用して、商店街活性化の「ビジョンづくり」を行います。

(株)全国商店街支援センターとは、平成21年に設立された支援機関で、全国の商店街を対象に、商店街の活性化の支援を行っています。

ビジョンづくりの第1回は、郭町商店街にある「ちよいみせキッチン」で、7月16日(木)の午後7時半から行われました。

今回のビジョンづくりの実行グループである石黒塾の塾頭近沢氏にお話をお伺いしました。

石黒塾についてお尋ねすると、「大垣市商店街振興組合連合会の若手経営者の集まりで、今年で8年目になります。スタートの勉強会に招いた街づくりプロデューサーの石黒靖敏氏の名前から名づけました。私は3代目の塾頭です。月2回の勉強会で、会員は20名程です。」

今回の「ビジョンづくり」のメニューは、全7回です。4回でビジョンを作成し、3回で



▲会議の様子

プランを作成します。講師は神戸ながたTMOの総括マネージャーである東朋治氏です。

1回目は、ビジョンづくりを始めるにあたって、ビジョンの意義の説明、講師紹介がありました。今後の大まかなメニューとしては、2回目は講演で、商店街活動の事例紹介があります。3回目はワークショップとして、未来希望図作成に向けた議論をし、4回目にワークショップの発表を予定しています。その後3回で、第2段階のプラン作成に進むとのことです。

近沢氏によれば、「石黒塾としては、全面的にタイアップしています。ワークショップもあるので、今後が楽しみです。」とのことでした。

た。

2回目は8月18日(火)の午後7時半から、同じく「ちょいみせキッチン」で開催されます。商店街のリーダーが自らビジョンを作

成するというこの「ビジョンづくり」の内容を、今後紹介していきます。

【取材・記事 中小企業診断士 古賀大助】

平成27年度指導事業実施報告

岐阜

平成27年7月22日(水)午後1時～3時、岐阜商工会議所レストラン(岐阜市神田町2-2)に於いて、青年部・女性部研修会を開催いたしました。「おもてなしの心」と題して、(株)トライフィット 専務取締役 安藤摩里氏にご講演いただきました。

「おもてなし」とは、モラル<マナー<サービス<ホスピタリティ<おもてなしであり、相手に対する心遣いが高いものです。

お客様は、お店に対して期待を持って来店されます。その期待より結果が下回った場合は、不満や憤りを感じ、他店へ行ってしまうたり、クレームになったりします。また、期待と結果が同じであっても、その程度のことは当たり前と感じ、他店へ行ってしまう可能性を残しています。しかし、期待より結果が上回った場合は、リピーターやファンになっていただけます。この期待より結果を上回らせるのが「おもてなし」なのです。

おもてなしのツールとして、まず「第一印象」があります。日本人の7割が第一印象を顔を合わせてから3～7秒で決めてしまいます。3～7秒の短い間に印象を良くするためには何をすればよいのでしょうか？笑顔で気持ちの良い挨拶やキレイな身だしなみ等が挙げられます。

★お知らせ

平成27年度地域商業自立促進事業の第2次募集が始まりました。

募集期間は、平成27年8月3日(月)～平



▲研修会の様子

次に、相手の話を「傾聴」することが大切です。傾聴の目的は、相手を理解することです。相手の話を丁寧に聞くことによって、あなたのことを知りたいですよと伝えます。

次に、「会話」です。会話の目的は、心が近づくということです。あなたに関心がありますよと伝えます。

そして、もうひとつ大事なのが「気づき力」です。相手のことをよく観察、分析。想像力を働かせ、相手が望んでいると思うことをします。相手が望んでいることが合っていれば、今後も同じようにしていき、違っていれば、分析して次回に活かしていきます。

全ては、相手に心から喜んでもらいたいという気持ちなのです。

受講生からは、「相手に対し興味を持ち、心遣いすることが大切だということを、改めて実感しました。」等の感想が寄せられました。

成27年9月2日(水)です。

詳細は、中小企業庁のホームページをご覧ください。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。